

手工テープに就て

東京女高師訓導 山 形 寛

一 手工テープとは如何なるものか

「手工テープ」と銘打った手工材料が數ヶ月以前から市場に出た。そして小學校や幼稚園などでぼつ／＼之を實際に試みられる様になつて來た。又玩具の一種として、玩具店や百貨店などで賣つて居る様にもなつて來た。

私がこの材料を實際兒童に使はせて見たのは、ほんの二三回に過ぎないのであるから、その結果から見た確然たる價值判斷をすることは今の處出來ないけれども、單にその材料を見た所に就て、少しく感じた所を述べ、併せて幼稚園に於ても之を實際に研究して見られるよう御すすめしたいの

である。

先づ「手工テープ」とは如何なるものであるかに就て述べる必要があらうと思ふ。「手工テープ」とは各種の色紙の裏に一種の粘着材料を塗り、之を幅一分五厘位から二分、三分……等各種に切り取り長さ約五尺位のものをもボール紙の眞に巻いてあるものである。而して裏面に塗られてある粘着材料は絆創膏に塗つてあるものと同質のものである。故に「手工テープ」と云ふのは色紙で作つた絆創膏だと思へば大差ない。而して之を製造する商會は絆創膏の製造が本業ださうである。

「手工テープ」も最初の試みとして作られたも

のを見た時は、色もよくなり、紙質點に於ても疑問を持つて居つたが近來は漸次改良せられて、紙質も厚く且つ兒童の力で容易に思ふ通りに切るこゝとが出来ようになり、色の數も増して二十色位作られて居り、且つ色そのものも華麗なものや濼いもの等種々あつて使用上、だいぶん都合がよくなつて來た。尙ほこの方面は實際使用の結果から適當の注文をすれば益々改良されて行くことと思ふ。

二 手工テープの用途及長所

「手工テープ」の用途としては種々あらうけれども、目下試みられて居るのは、テープをそのまま適當な長さに切つて臺紙に貼り、梯子、門、家ぶらんこ、鳥居等の如き形を表現する方法と、テープ長短色々に切りそれを臺紙に貼つて、從來からやつて居た「むしり繪」又は自在切抜の如き表現をなすことと、畫用紙、羅紗紙、薄手のボール紙

等で諸種の立體的構成をなす場合の接合材料に用ふる場合と、それ等の立體的裝飾に用ふる場合とある。

第一の場合即ち紙帶を以てする表現をなすには、普通の色紙の如く、之を紙帶狀に裁ち切るの要なく、又既に粘着材料がついて居るのであるから、糊をつける世話がいらぬ、且つ普通の糊を用ふる場合には、幼稚園や小學校の低學年に於ては、紙や机其他をよごすことが多く、且つ一度つけた糊が乾いたり何かして、なか／＼うまく行かぬものであるけれども、手工テープに於ては、さう云ふ缺點がない、のみならず臺紙に質の硬く且つや／＼滑なものを用ふる時は、一度貼つて見て位置が面白くなかつたり曲つたり、する時は、はがして再び貼りなほしても、臺紙や他の部分をよごすことがない。かゝる點から見ても、表現そのものを目的とする場合には、普通の色紙よりも數段優

れて居ると云はなければいけない。然し、小刀や
鋏で紙を裁つ練習や、糊の使用練習をさせる手段
として紙帯による表現をなさしめる様な場合には
手工テープは全く目的に副はないことになる。

第二の場合、即ち自在切抜的の表現を爲すには、
幅の比較的狭いテープになつて居るのであるか
ら、廣い形を表はしたり、廣い面積を貼りつぶし
たりするには、普通の色紙の如く一度では行か
ない。幅の狭いものを貼りならべなければならぬ
缺點がある。然しその他の條件に於ては普通の色
紙に比し數段の便宜がある。その第一の點は普通
の色紙の場合には先づ思ふ形に色紙を切つてか
ら、糊をつけ、それを貼り、更に他の形を切り、
又貼ると云ふように、幾度か糊を用ひたり、鋏を
用ひたりしなければならぬ。その間には方々へ
糊がついて周圍をよごしもするし、又糊をつける
と云ふ仕事は、大人から見れば簡單なことのよう

に見えるけれども、小さい兒童にとつては相當困
難な仕事であり、心を勞することが多いものであ
るから、この仕事の中にはいることは、形や色の
表現に對する心的活動の上に、直接的でない仕事
がはいることになり、そこに幾分の空虚が生じ、
ために仕事に對する興味と熱心が幾分づゝさま
ざれることが多い。然るに手工テープに於ては、
この糊をつけると云ふ作業が全部省略されるので
あるから、「かう云ふ形で」「かふ云ふ色に」と考
へた時に直ちにそれを貼りつけることが出来るの
であるから、心的活動の上に異分子がはいらぬこ
とになり、仕事に對する興味を増し、熱を強める
上に非常に便宜が多い。次にテープは或る形を表
はさうと思ふ時に、テープの一端から、その部分
に貼りつけ、ここ迄でよいと云ふ所で貼つた方を
左手の指頭で壓へて、引き切れば思ふ通りの形が
一度で出来、しかもそれが既に貼られて居ること

になる。而して若しその結果が面白くなかつた場合にははがして貼りなほすことも出来る、以上の如き諸點から見て、自在切拔の表現の場合に於て便宜な點が相當多いのである。

第三の場合、即ち畫用紙羅紗紙薄手ボール紙等の接合材料として用ふるには、幅四五分位に作つたものを用ふるのであるが、之は非常に便利である。畫用紙や羅紗紙による立體的の構成の場合には、普通その接合すべき部分に糊代を残して置いて接合するのであるけれども、製作すべきもの、形によつては、展開圖を畫いた時に、どこに糊代を置けばよいかは、小さい兒童にはやゝ難解に屬するものであるが、こんな場合に所要の面の形をそれ／＼別々に切つて作り、然る後に他の接合材料によつて接合する時は所謂展開圖と云ふものを畫かないでもよいのであるから、製作がよほど理解し易くなる。又ボール紙の場合、例へて糊代を

残して置いても、はね返つたりしてなかく固着し難いものであるから、他の材料を以て接合する方が都合がよい。私はこれ迄に斯かる場合の接合材料に、水彩畫を畫く時の水張に用ふるゴムペーパーと稱する丈夫な日本紙にアラビアゴムを引いて幅五分位に切つたものを巻いてあるものを用ひて便利を感じて居つたが、この「手工テープ」はそれよりも一層便利である。而してボール紙の如き、質の比較的軟い紙に於ては簡單にしかも強く貼りつかつて、一度貼はつたものをはがせば、臺になるボール紙の方がついてはがれて來る程強くつき、端の方がはがれて來る様なことはない。而してこのテープには種々の色があるから、あの黄土色をしたボール紙や、茶褐色をしたボール紙の地の色を生かして行くにも便利である。(ボール紙の色は相當よい色であるから無意に上貼をしてかくしてしまはぬがよい。)

第四の場合即ち、前記の如くして製作した各種の立體の裝飾用として用ふることは、これ又用途が廣い。而して既に幅の狭い帶狀になつて居るのであるから、そのまま簡單にして且つ効果の多い裝飾をなすに甚だ都合がよく、この方面の用途は研究すれば可なり廣いことと思はれる。

三 手工テープの用途に對する所見

以上で「手工テープ」の用途及び長所に就て大體述べた心算であるが、現今最も多く用ひられて居る方面は、第二の方面即ち自在的切抜表現の方面である。製造者に於ても、この方面の價値を重く見種々の標本等を作つて宣傳して居る様であるが、私の考へる所によれば、勿論かゝ方面に用ひてよいと思ふが、然しそれは、極めて單純にしても幼稚園か小學校の低學年に於て若干採用される程度に止め、普通の繪で狙つて居るやうに、物體の丸味をつけて、明暗をも表現しようと思つた

り、えらく複雑なものを表現しようとする如きは少しく横道にそれたことだと思ふ。さう云ふ表現ならば、むしろ圖畫の描寫材料として研究を積まれたものによる方が便利である。勿論畫いたものと紙で貼つたものとは、出來たものゝ味はひの上には差があることは認めるけれども、しかもその味はひに溺るべきものではない。繪畫的表現には、それに適する他の材料のあることを忘れてはならない。

前項に於ては用途として述べなかつたが、小さい兒童等が繪畫的表現をなす場合の補助材料としてクレイヨン其他と混用することはやらせてよい。小學校に於ても綜合的學習と云ふ様なことがよいとされて來た今日に於ても、最もその性質の接近して居る圖畫と手工との綜合的表現を認むることは當然であるから、從來とても色紙とクレイヨンの併用と云ふやうなことは行はれて居つた

のであるが、その色紙の代りにテープを用ふることは相當便利である。

用途の第三、第四の方面は、大に研究すべき價値ある方面である。私はむしろこの方面に多くの意義を發見することが出來ると思ふ。而してかう云ふ方面では幼稚園から、小學校の四學年位まで紙を主とする工作の補助材料（テープもやはり紙ではあるが）最も必要なものとなつて來はせぬかと思ふ。特に小學校の三四年程度に於けるボール

紙を主とする工作に對し、あきたらず思つて居つた私にとつては、この材料は非常によい刺戟を與へてくれた様に思ふ。このことに就て少しく述べたいのであるが、幼稚園に關する部分が少いから止めて置く。

手工テープに就ては尙ほ實際製作例を擧げて述べたい部分もあるけれども、それ等は、又の機會にゆずることにする。

